

来年度経営構想重点プラン PART2 (机上フラット・グリーン化)

机上のフラット化、グリーン化は、必ずや、働き方改革の推進に結ぶ付く それは、児童の成長にも結びつく

右の写真は刺激物が全くありません。ユニバーサルデザインの考え方をよくご理解されている先生方には、業務に及ぼす効果については言うまでもありませんね。個人情報の管理・保護の確率がほぼ100%になります。何名かの先生方が、デスクマットの下にプリントをはさんでいらっしやいます。全て業務に必要なものでしょうか。校長の私も含めて、正確かつ効率的な業務や研究の視点からもさらなる工夫・精選をしてみてください。



これが本校の「来年度経営構想の重点プラン2」の理想形です。

お一人の例外があっては実現ができない取り組みです。また、齊一的に行うことで副次的な成果も現れ、さらには、我々の働き方改革にも大きなプラスの作用をもたらすものであるとも考えています。

机上フラット、グリーン化に取り組んだ学校の「働き方の副次的な成果」の例です。

- ① 「個人情報の紛失が」ゼロになりました。
- ② 「環境は人を整える」の言葉のとおり、正確かつ効率的な業務が、齊一的に進められ「ヒューマンエラー」がゼロになりました。
- ③ 机上に埃がたまりません。パソコン端末の故障の確率がゼロに近づきました。
- ④ 「教室は、授業をする場所」「職員室は業務をする場所」の徹底が図られました。空き時間は職員室で仕事をすることで節電(環境負荷軽減)が格段に達成されました。
- ⑤ 土日も含めた、超過勤務時間が格段に縮減されました。
- ⑥ 職員室での個別支援の可能性が広がり、特別支援教育をチームで推進する体制が整いました。学級担任の先生の負担が軽減されました。

このプロジェクトの最終ゴールは特別支援教育の中で特に重要な全教室における「齊一的な」環境整備です。「教室がきれいになりました」「黒板周りがすっきりしました」「教師の指示が簡潔になりました」「授業がシンプルかつ焦点化されました」そして学級が、学校が落ち着きました。学力が高まりました。

来校者が執務場所を訪れた際、どのようなことにお感じになられるでしょうか。何より、「教室をきれいに」と私たちが指導をしている子どもたちは、どのように思うでしょうか。

本校職員全員への信頼が高まり、必ず児童の成長にも結びつくことを確信しています